

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科

国語 科目 文学国語

教科：国語

科目：文学国語

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：高等学校 文学国語（筑摩書房）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 文学国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学期	<p>「小説とは何か」（三島由紀夫）</p> <p>【知識及び技能】・「小説とは何か」の読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。・「小説とは何か」を通して、情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自ら文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにする。・「小説とは何か」の読解を通して、文学的な文章やそれに関する文章の種類（随想・評論）や特徴などについて理解を深める。・「小説とは何か」における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し、自ら使う。・「小説とは何か」を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深める。・「小説とは何か」の読解を通して、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。【思考力、判断力、表現力等】・「小説とは何か」の文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。・「小説とは何か」と他の作品を比較するなどして、文体の特徴や効果について考察する。・「小説とは何か」の構成や展開、表現の仕方などを踏まえ、解釈の多様性について考察する。・「小説とは何か」の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。【学びに向かう力、人間性等】・教材の内容に関心を持つ。・発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。・学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。・生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとする。</p>	<p>①架空の物語である「小説」が、読み手に実体験のような感動をあたえるのはなぜか、筆者の主張を踏まえて考える。②筆者の述べる「小説」の定義を50字以内でまとめる。③「道野物語」を読んで、800字程度で感想をまとめる。</p>	○			<p>【知識及び技能】・「小説とは何か」の読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。・「小説とは何か」を通して、情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自ら文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。・「小説とは何か」の読解を通して、文学的な文章やそれに関する文章の種類（随想・評論）や特徴などについて理解を深めている。・「小説とは何か」における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し、自ら使っている。・「小説とは何か」を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。・「小説とは何か」の読解を通して、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。【思考力、判断力、表現力等】・「小説とは何か」の文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。・「小説とは何か」と他の作品を比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。・「小説とは何か」の構成や展開、表現の仕方などを踏まえ、解釈の多様性について考察している。・「小説とは何か」の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。【学びに向かう力、人間性等】・教材の内容に関心を持っている。・発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。・学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。・生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。</p>	○	○	○	5
	<p>「陰影礼賛」（谷崎潤一郎）</p> <p>【知識及び技能】・「陰影礼賛」の読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。・「陰影礼賛」を通して、情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自ら文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにする。・「陰影礼賛」の読解を通して、文学的な文章やそれに関する文章の種類（随想・評論）や特徴などについて理解を深める。・「陰影礼賛」における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し、自ら使う。・「陰影礼賛」を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深める。・「陰影礼賛」の読解を通して、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。【思考力、判断力、表現力等】・「陰影礼賛」の文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。・「陰影礼賛」と他の作品を比較するなどして、文体の特徴や効果について考察する。・「陰影礼賛」の構成や展開、表現の仕方などを踏まえ、解釈の多様性について考察する。・「陰影礼賛」の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。【学びに向かう力、人間性等】・教材の内容に関心を持つ。・発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。・学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。・生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとする。</p>	<p>①日常生活に潜む「陰翳」の効果について、どのような表現が用いられているか整理し、筆者の美意識を確認する。 ②「闇」が効果的な働きをしている日常生活の例を挙げ、筆者の「闇」に対する考え方を200字以内でまとめる。 ③他に筆者による日本文化論にはどのようなものがあるか、調べろ</p>	○			<p>【知識及び技能】・「陰影礼賛」の読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。・「陰影礼賛」を通して、情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自ら文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。・「陰影礼賛」の読解を通して、文学的な文章やそれに関する文章の種類（随想・評論）や特徴などについて理解を深めている。・「陰影礼賛」における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し、自ら使っている。・「陰影礼賛」を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。・「陰影礼賛」の読解を通して、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。【思考力、判断力、表現力等】・「陰影礼賛」の文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。・「陰影礼賛」と他の作品を比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。・「陰影礼賛」の構成や展開、表現の仕方などを踏まえ、解釈の多様性について考察している。・「陰影礼賛」の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。【学びに向かう力、人間性等】・教材の内容に関心を持っている。・発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。・学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。・生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。</p>	○	○	○	6
	定期考査						○	○	○	1



